

メディア掲載情報

媒体名	鉄鋼新聞
掲載号	
掲載日	2014年2月24日
掲載内容	ショールーム 記事

カツデンアーキテック 展示場リニューアル

室内用スチール階段メーカー 据え付けた際の空間を想像しや
のカツデンアーキテック(本社 すいよう、視覚に訴えたり、使
・東京都台東区、社長・坂田清 い心地を判断しやすくするなど
茂氏)はこのほど、美里木部工 趣向を凝らす。

展示場「住まいの階段ショールーム」を大幅刷新した。
来場者が実際の住居に階段を



色や柄に富んだ壁紙で設置感を演出④、子供向け新製品も



は、これまでの弧状の壁を平らな仕様に変更。窓枠を入れて採光を再現したほか、色合いや柄に富んだ壁紙を貼り分け、カタログで確かめにくい空間に対する順応性やバランスなどを見比べるのに役立ててもらおう。昨年秋に市場投入した新色のパール

「室内用スチール階段」 視覚に訴え、使い心地体感

グレーに塗った製品も陳列している。

また、細い径の鋼管がささら桁の役割を担う階段を並べたブーンスの一部を改装し、スチールパイプを主部材に使う子ども向けの室内用スチール階段「キッズロフティ」を配備―写真⑤。

屋根裏に見立てた上部に通じるよう階段を掛け、製品の特徴を体感できる。同製品は現時点で4種類あり、今年6月にも発売する方向で検討している。

このほか室内の吹き抜けで使う手すりに触れられるスペースも確保した。

同展示場は2005年1月に開設。企業関係者と一般の消費者は同程度の来場比率となっている。自社で開発、製作する室内用スチール階段に用いるワイヤーや手すり、ささら桁などで積み重ねた改良の変遷をたどるコーナーも整備。世代を問わず階段について広く理解を深めてもらうきっかけを提供する。

本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。